

(別紙4)

# 評価結果報告書

事業所番号	2991000015
法人名	メディカル・ケア・サービス関西株式会社
事業所名	愛の家グループホーム香芝
訪問調査日	平成 20 年 10 月 29 日
評価確定日	平成 20 年 12 月 9 日
評価機関名	特定非営利活動法人カロア

**外部評価項目構成**

I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	<b>30</b>

**※記入方法**

- 「取り組みの事実」欄は、ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
- 「取り組みを期待したい項目」欄は、今後、さらに工夫や改善が必要と思われる項目に○をつけています。
- 「取り組みを期待したい内容」欄は、「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**※項目番号について**

- 外部評価項目は30項目です。
- 「外部」にある項目番号が外部評価の通し番号です。
- 「自己」にある項目番号は自己評価で該当する番号です。参考にして下さい。

**※用語について**

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

〔認知症対応型共同生活介護用〕

1. 評価結果概要表

平成 20 年 11 月 4 日

【評価実施概要】

事業所番号	2991000015		
法人名	メディカル・ケア・サービス関西株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム香芝		
所在地	奈良県 香芝市五位堂 1 丁目 3 4 1 番地 1 (電話) 0745-71-6701		
評価機関名	特定非営利活動法人カロア		
所在地	大阪市大阪市天王寺区堀越町 1 番 1 号四天王寺堀越ビル		
訪問調査日	平成20年10月29日	評価確定日	平成20年12月9日

【情報提供票より】 ( 20 年 10 月 13 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 19 年 10 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤 10 人	非常勤 4 人 常勤換算 11 人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	1 階建ての	1 ~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	77,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有 ( 円)	○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	○ 有 ( 200,000 円)	有りの場合 償却の有無	○ 有 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,050 円	

(4) 利用者の概要 ( 10 月 13 日現在)

利用者人数	16 名	男性	2 名	女性	14 名
要介護 1	5	要介護 2	5		
要介護 3	3	要介護 4	2		
要介護 5	1	要支援 2	0		
年齢	平均 81.4 歳	最低	69 歳	最高	89 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	内科：片岡医院 歯科：宮崎歯科
---------	-----------------

概要表

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

愛の家グループホーム香芝は、二上山の麓にあり、時間帯や四季によって様々な自然を楽しむ事ができ、季節感を味わいながら過ごす事ができます。ホーム内は、廊下が広く明るく通気がよく、くつろぎのスペースもあり、居心地のよさが感じられました。ホーム自体、「その方らしい生活」を大切に日常生活の中で、入居者本位の自立支援に向けたケアが確保され、温かく見守り笑顔に包まれた居心地の良い家を目指されていました。また、研修や勉強会の機会を積極的に設け、スキルアップを図り、今後更なる進化が期待を感じさせて頂きました。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目：外部4)</p> <p>外部評価は、今回が初めてです。今後、評価で明らかになった課題は、管理者・職員間で話し合い、入居者が快適に過ごせるよう考えられています。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目：外部4)</p> <p>自己評価は、管理者が中心となり取り組まれています。チェックシートに基づきチェックを行う事で、出来ている点・出来ていない点を明確化出来、出来ていない点には、積極的に改善に向けて取り組まれています。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目：外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議を2ヶ月に1回開催し、意見交換が十分なされています。また、ご本人やご家族の意見や要望を柔軟に取り入れ、サービスの向上に努められています。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目：外部7, 8)</p> <p>玄関に苦情受付ポストが備え付けられています。意見や要望は職員間で話し合いの場を持ち、振り返り、ホーム内で反映させています。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目：外部3)</p> <p>毎日の散歩の行き来の中で地域住民との馴染みの関係があります。また、自治会や老人会の参加や、ホームでの行事の案内など関係が円滑に行われています。</p>

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目 (※下線数字は重点項目)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者や家族と話し合われた上で「外が好きやねん」「楽しいこう」をユニットの理念として、「その人らしい生活を支える」「希望を持ち続ける」をホームの理念とし、温かく見守り、笑顔に包まれた居心地の良い家を目指すよう心がけています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝の朝礼時に運営理念の唱和を行うと共に、ユニットでの申し送り時にはユニット理念を唱和され職員全員が周知できています。また、理念とは別に「明るく元気にきっぱり」と唱和し元気さ・明るさ・笑顔での対応を積極的な姿勢で取り組まれています。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の自治会・老人会の参加や地域の方に向けて毎月ホーム新聞を発行されるなど地域交流が盛んになされています。	○	共に暮らす地域住民の一員として、公園の草ひきや空き缶拾い等に今後関わり積極的に交流を図るよう検討されています。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価は今回が初めてで、自己評価に関しては、チェックシートを基に、改善に向けて、管理者・職員共に積極的に改善されています。		

(結果)

外部評価	自己評価	項目 (※下線数字は重点項目)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催されています。行政、地域住民、利用者の家族の方の出席があり、情報交換や意見交換が活発に交わされ、サービスの質の確保に努められています。		
6	9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	定期的に市役所に出向き、意見交換や相談を行い、積極的に市の担当者との話し合いがなされ、質の向上に向け連携を図っています。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期のホームからのお知らせや居室担当職員からの手紙・入居者からの手紙を郵送されています。又、特に変わりがあれば電話連絡など迅速に対応されています。金銭に関しては、毎月ご家族に報告されています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に苦情受付ポストが備え付けています。また、アンケートの実施、手紙やご家族の意見があれば積極的に解決に向けて取り組まれています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設以来、異動や離職は、必要最小限に留め、職員は混乱を生じないように意思疎通を図り、入居者への配慮がなされています。		

外部 評価	自己 評価	項 目 (※下線数字は重点項目)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	講師を招き勉強会や外部研修、ホーム内での勉強会が盛んに行われています。また、研修内容は、伝達研修や申し送りなどで職員に周知出来る体制が出来ています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他事業所との定期的な絵手紙などを通じて、同業者とのネットワークが確立しています。勉強会や行事参加が盛んに行われています。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	お試し利用として、日中送迎付きで雰囲気を感じて頂き、お試し利用を2～3回位繰り返して納得の上で利用して頂くよう工夫されています。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	洗濯や掃除、食事作りなど様々な場面で職員が入居者の方の経験から教えて貰っていたり共に生活をしているという雰囲気で協力しながら行っておられます。また、入居者同士でお互いに助け合っている生活ぶりが見受けられます。		

外部 評価	自己 評価	項 目 (※下線数字は重点項目)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人やご家族と話をしていく中で、希望や要望を細かく情報収集されています。また、個別レクを通し、極力個々の希望が通るよう工夫されています。困難な場合は、ご家族と相談されています。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人やご家族の希望を聞き、適時必要な関係者と話し合いがなされており、具体的な介護計画を作成されています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月毎に見直しが行われています。また、計画の変更がある時は、本人・ご家族・職員と話し合い計画の変更を迅速に行える体制が敷かれています。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご本人やご家族の希望には、出来る範囲で可能な限り対応されています。		

外部 評価	自己 評価	項目 (※下線数字は重点項目)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームドクターの受診により、日頃の健康管理がなされています。他科受診の場合のみ、ご家族が対応されていますが必要があればホームドクターにより紹介状の発行などの対応がなされています。また、入居前のかかりつけ医に受診できる体制もとられています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合における医療連携指針によって、事前に説明し、早期に対応し、必要な時期に必要な医療が受けられる様、話し合うと共に、出来る限りホームで対応する方針を共有されています。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	人生の先輩として敬い、尊重する様、心掛けておられます。又、記録等の個人情報に関しても、開きっぱなしにしない・すぐ閲覧できる状態で保管しない等、取り扱いに注意を払っておられます。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者第1ということに関して、全職員に周知徹底されてます。一人ひとりのペースを大切にされ、その方の暮らしやすいペースを乱さないよう配慮されています。		

外部 評価	自己 評価	項目 (※下線数字は重点項目)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日3食をホームで作られ、準備や片付けなどそれぞれの役割ができています。また、外食や粉もんパーティーなどを企画し、食事が楽しみなものになるような支援をされています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、極力入りたい時に入って頂けるよう心掛けています。また、入浴の順番もくじ引きなど工夫され、楽しい入浴になるよう対応されています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の趣味や嗜好を大切に日常生活に活かされています。得意分野を楽しみながら生活に張りを持って過ごせるよう支援されています。		
25	61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	「外が好きやねん」という理念の通り、毎日散歩の機会を設けておられます。また、ドライブや買い物 等にも随時出かけられています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の鍵に関してホームを建てる際、近隣住民との間で玄関の鍵はかけるという取り決めがあるとの事です。ただ、鍵をかけない事の大切さはよく理解され、ユニット間のドア等鍵をかけず、扉も閉めず開放的な雰囲気になっています。		

外部評価	自己評価	項目 (※下線数字は重点項目)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署の協力のもと、防災訓練が実施されています。	○	災害時に地域の人々の協力を得られるよう、地域住民への働きかけを期待します。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取状況を毎回チェックし記録に残しています。また、入居者の好き嫌いや習慣・嗜好など把握され、極力好みに応じた支援がなされています。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間に、食卓の他、ソファや畳があり入居者がくつろぐ事ができる空間があります。また、壁には手作りの作品が飾られ生活観のある工夫をされています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の使い慣れたものや好みのものを居室に持ち込まれています。また、「自分の部屋」という感覚を持ちやすくなるよう、きめ細やかな配慮が行われています。		